

東日本大震災から3ヶ月 ――

被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。グループの力を結集し、テレビ東京らしい報道と、継続的な支援活動に取り組んでまいります。

東日本大震災の報道について

東日本大震災は、報道局と系列局挙げての総力取材となりました。東北に系列局がないことに加え、交通網が寸断されるなど、厳しい状況の中、発生直後から報道特別番組を放送し、33時間1分とテレビ東京の災害報道史上最長の番組となりました。その後も、2週連続で、ゴールデンタイムに震災報道特別番組を放送し、好評価を得ることができました。「ワールドビジネスサテライト」では独自の切り口で、電力クライシスと題した連続企画を放送しました。震災から1ヶ月後には、「ガイアの夜明け」

で、支援に動いた企業や個人を特集し、「震災に立ち向かう人々の姿に感動した」との声が視聴者から寄せられました。震災、原発事故、それに伴う電力不足は、これまでの日本のシステム、日本人の生活様式まで改めて考えさせられる機会となりました。復興の道程は長く、報道の役割は重要です。様々な角度からテレビ東京らしい報道を続けてまいります。

テレビ東京 報道局長 村田一郎

テレビ東京は東北地方にネット局や取材拠点を持っていませんが、TXN系列局から記者やSNG車の出動協力をしてもらい、またインター FMでは在日外国人向けの情報提供をするなど、グループ全体で取材・放送に取り組んでいます。

発生直後の放送

CMなしの緊急報道特別番組放送(BSでもサイマル放送)

報道特別番組

「池上彰の緊急報告 大震災のなぜに答える」 第1弾 3/20(日)19時～OA 第2弾 3/27(日)19時～OA

在日外国人向け放送

インター FMにて、在日外国人向けに、英語、北京語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語で災害・ライフライン情報をラジオとツイッターで発信

その他、ストレートニュースや報道番組等でも随時、震災に関連する放送をしています。

詳細はテレビ東京のホームページ(www.tv-tokyo.co.jp/)をご覧ください。

支援活動

テレビ東京グループとTXN系列各局は、被災された方々を支援するため、番組やイベント、コンテンツ等を通じて「TXNチャリティ募金」への義援金を呼びかけました。そして第1弾として、当グループとテレビ大阪、テレビせとうち、テレビ北海道の共同寄付金5,000万円と募金を合わせ、1億円を日本赤十字社に寄託しました。

報道・ニュース以外でも、旅番組や情報・バラエティ番組等でも被災地支援を特集したり応援メッセージ等を発信、スポーツでのチャリティオークション、YouTube 内テレビ東京チャンネルで子ども向け番組「ピラメキーノ」配信、番組収録やイベント等へのご招待、文房具や本等の支援物資の提供等、様々な形で取り組んでいます。

テレビ東京グループは、復興に向けて人々に元気や楽しい時間をご提供するため、今後もこうした活動を続けてまいります。

今夏の電力使用量の削減につきましては放送の継続を最優先とし、空調温度設定変更、ロビー、廊下、オフィス、スタジオの照明削減、自動販売機、エレベータの一部休止などを実施しています。また、関連会社を含めた「電力抑制プロジェクト」を発足させ、一層の節電に取り組んでいます。

主な取り組み

- 5月からクールビズを実施し、オフィス空調の温度を28℃に設定
- ロビー、廊下、食堂、喫茶、オフィスなどの蛍光灯の抜き取りによる削減
- コピー機の削減とパソコン画面の明るさを抑え、使用しないときは電源OFF
- エレベータ、自動販売機の一部休止
- 温水便座ヒーター、給湯器などの一部休止
- 館内放送による節電の周知(毎日2回実施)
- スタジオ照明などの工夫による削減(技術的な品質は維持)